

令和7年9月25日

養父市議会議長 谷 垣 満 様

予算特別委員会

委員長 深 澤 巧

予算特別委員会審査報告書

令和7年9月1日、本委員会に付託された事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第101条の規定により報告します。

記

1 審査年月日

令和7年9月4日（木）

2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第55号	令和7年度養父市一般会計補正予算（第4号）	原案可決すべきもの
議案第56号	令和7年度養父市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決すべきもの
議案第57号	令和7年度養父市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決すべきもの
議案第58号	令和7年度養父市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決すべきもの

（別紙）審査内容等報告書

(別紙)

予算特別委員会 審査内容等報告書

## 議案第 55 号 令和 7 年度一般会計補正予算 (第 4 号)

**【質疑】** 自動運転バス実証事業の国の補助率が 10/10 から 4/5 となり、事業費も減額となっている。成果は出せるのか。また、将来のランニングコストは想定できているのか。

**【答弁】** 社会実装を見据えて一定程度の自治体負担が必要であるとの方向性を踏まえた国の制度変更により、自治体負担が 1/5 必要となった。

実証期間は当初の 6 カ月間から、3 カ月間 (10 月下旬から 1 月) に変更する予定である。この期間でも実装に向けた必要な成果を出すことは可能と考えている。

その他、バスを 2 台に増やし、運行ルートを JR 八鹿駅から道の駅但馬蔵まで延長する。AI を活用しシステムの精度の向上も図りたい。

ランニングコストは、概算とはなるが、現時点では年間 3,000 万円程度を見込んでいます。

**【質疑】** 放課後児童クラブ (学童クラブ) の運営等について、国の DX 推進実証事業の採択を受けるまでの経緯は。また、DX によりどのように便利になるのか。

**【答弁】** 国予算 1 億円事業で補助額は上限 1 千万円である。5 月に公募があり、6 月に全国 10 団体の枠の中に採択された。

学童クラブでは、児童の入退室管理、保護者との連絡、予約確認、利用料金の集計など職員の労務負担が大きいことが、かねてからの課題であったことから、市では業務の ICT 化の検討を進めていたところ、国の補助事業でこれを行えることとなった。予算可決後には契約を行い、市の実情に特化したシステムの開発に向け協議を進め、3 月まで実証事業に取り組む。

ICT 化により、職員の出退勤管理も含め事務の大幅な軽減 (月あたり約 46 時間、年間 550 時間) が見込めることから職員の省力化、利用者の利便性向上を図りたい。また、学童クラブ通信もアプリによるプッシュ配信を行う。

**【質疑】** 学校給食用精米調達業務の債務負担行為の追加の理由と、予算額の積算根拠、契約の見込みについてはどうか。

**【答弁】** 学校給食の精米調達は、昨今の米不足の中で困難な状況である。令和 8 年度の半期 (4 月から 9 月) 分の県内産コシヒカリ米を安定的に

確保するための措置である。

単価は、今年度の最高見積価格 1 キロ当たり 700 円を算定根拠とした。限度額の範囲内で可能な米の量を確保したい。また、新米の概算金の高騰についても注視しながら、早期に来年度半期の給食米契約を行うことで来年度の予算編成を進めていきたい。